

在シドニー総領事通信

第 61 回 日豪間の観光・学生交流再開に向けて

令和 4 年（2022 年）5 月 31 日



スノー・トラベル・エキスポの開会式（2022 年 5 月 22 日）

皆さん、5月はどのように過ごされましたか？5月21日の豪州連邦選挙では労働党が勝利し、新政権が誕生しました。アルバニー新首相は、就任の数時間後にウォン新外務大臣とともに日本に向けて発ち、5月24日に東京で開催された[日米豪印首脳会合](#)に出席、[日豪首脳会談](#)や[日豪外相間の懇談](#)も行いました。当館も様々な形で側面支援を行い、緊密な日豪関係を改めて実感しました。5月はそれと並行して、日豪関係の基盤となる草の根交流を推進すべく、観光・学生交流再開に向けた様々な行事に参加し、関係者の熱気を感じました。今回の総領事通信では、最新の動きを皆さんにご報告します。



スノー・トラベル・エキスポの日本ブース（2022年5月22日）

●スノー・トラベル・エキスポ

豪州連邦選挙翌日の5月22日、シドニー国際会議場でスノー・トラベル・エキスポが開催されました。日本からは日本政府観光局（JNTO）・地方自治体・旅行会社・航空会社など10を超える企業・団体が出展して最大のブースを構え、多数の来客の関心を集めて大きな存在感を発揮していました。

私は開会式で日本政府を代表して主催者とともに登壇し、インタビューを受ける形で挨拶と広報を行いました。家族で北海道にスキー旅行をして大変楽しかった思い出を紹介するとともに、スキーリゾートでの日本食・日本酒や温泉・観光名所など、日本ならではの魅力をアピールさせていただきました。

会場で全ての出展企業・団体の皆様にご挨拶し、お話を伺ったことも貴重な経験でした。ニセコや白馬など有名なスキーリゾートには豪州からのスキー客が多いので、その他のスキーリゾートでは「ここには豪州人はいません(No Aussie)」というセールストークが効果的とのこと。日本にとって、豪州からのスキー客のマーケットはまだまだ伸びしろが大きいと感じました。



豪州観光商談会（2022年5月16日、NHKニュース）

●豪州観光商談会

それに先立つ5月15日～18日には、[豪州観光商談会（Australian Tourism Exchange 2022）](#)が豪州政府観光局の主催によりシドニーで開催され、日本を含む世界各国から千人以上が参加しました。豪州ではコロナ後初めての観光関連大規模行事ということで、日本のテレビニュースでもNHKは「[オーストラリアで大規模商談会・海外から観光客呼び込み](#)」、TBSは「[豪ー3年ぶりに大規模旅行・観光商談会開催](#)」と報道し、観光再開への関心の高まりを感じました。

業界向けのB to B行事だったので私は会場には赴きませんでした。シドニーを訪れた観光関係者から、この機会に個別にお話を伺いました。日本の旅行会社幹部と一緒に日本から参加した[豪州政府観光局](#)のベインズ日本局長には初めてお会いしましたが、日本との最初の関わりはNSW州ポートスティーブンス市と神奈川県湯河原町の姉妹都市学校間交流だったとのこと。日本語も大変流暢で、草の根交流がその後の日豪ビジネスの発展につながると感じました。

また、[北部準州政府観光局](#)のレビット副局長とテルフォード航空戦略上級部長とも久しぶりにお会いして、日本から北部準州への観光推進についても意見交換を行いました。日本ではウルルが有名で、コロナ前は北部準州への観光客は日本が1位だったので、往来再開後に元に戻るよう後押ししていく考えです。



豪日協会大学賞授賞行事（2022年5月18日）

●豪日協会大学賞

5月18日には、豪日協会 NSW 州支部 (AJS-NSW) の主催で、国際交流基金シドニー日本文化センターで、豪日協会大学賞の授賞行事が開催されました。これは、毎年シドニー近郊の大学を対象に、日本研究・日本語学科の最優秀学生に賞状と賞金を授与して顕彰するものです。今年はニューカッスル大学も対象に加わり、全7大学の学生が受賞しました。私の[基調講演](#)では、今回の受賞者をはじめ豪州で日本を学ぶ若い世代が、安全保障から経済、文化まで幅広い分野での将来の日豪関係を築くことへの期待を伝えました。

この行事には昨年初めて参加し、各大学の最優秀学生の日本への熱意・愛着と流暢な日本語に強い印象を受けました。今年の実賞者から話を伺って、コロナが長引く中でこの2年間日本に全く行く機会がなかった中で、勉学を続けてきた努力を感じました。受賞者の一人は、これまで1度も日本に行ったことがない由でしたが、すばらしい日本語でスピーチし、大学の日本研究・日本語学科の底力を感じました。



ノックス・グラマースクールのジェームス学長、ローンズ・ラグビー部長、
「友達 2021」のピーター・ギブソン氏と（2022年5月25日）

●ノックス・グラマースクール訪問

先週の5月25日には、シドニー北部のノックス・グラマースクールのジェームス学長を訪問し、日豪学生交流の拡大に向けて意見交換を行いました。

ノックス・グラマースクールは1924年に開校し、豪州の高校ランキングでは上位30位に入る私立の名門校です。コロナ前の2019年には[同校のラグビー部員約40名が課外活動として2週間訪日](#)し、福岡・大分・大阪・東京で日本の高校生と6回の交流試合を行いました。また、日本語クラスは中2から高3まで5年間受講でき、HSC上級日本語試験を受ける生徒もいるなど、日本語教育にも力を入れています。

昨年の東京オリンピックに先立って行われた日豪オンライン学校間交流「友達2021」には日豪双方から約600クラス、2万名の生徒が参加しましたが、ノックス・グラマースクールからも3クラスが参加して日本の学校と交流しました。豪州オリンピック委員会で本件を推進したピーター・ギブソン氏は、[豪日基金の支](#)

[援](#)を得て、東京オリンピックのレガシー・プログラム「CONNECT ともだち」を今般立ち上げ、6月22日には[発足ウェビナー](#)を開催予定です。今後、オンラインで交流した生徒が実際に日豪間を相互訪問し、交流が一層発展するのを楽しみにしています。



ノックス・グラマースクールの訪日ラグビー交流（2019年4月・同校提供）

●日豪間の観光・学生交流再開に向けて

日本の水際対策は徐々に緩和されています。5月5日、岸田総理は[英国ギルドホールでの講演](#)で、「6月には、他のG7諸国並みに円滑な入国が可能となるよう水際対策を更に緩和していきます。」と表明しました。5月下旬には、今後の訪日観光再開に向けて、米国、豪州、タイ、シンガポールの4カ国を対象に、日本の旅行会社が行動管理を行う少人数のパッケージツアー形式での[実証事業](#)が行われました。

[6月1日以降の水際措置](#)では、豪州からの入国者は入国時の検査や入国後の待機が不要となりました。更に、6月10日からは添乗員付きのパッケージツアーでの観光客の受け入れが再開されます。豪州への観光旅行は、既に[本年2月から](#)、

コロナワクチンの接種を完了していれば可能になっており、今回の日本側の水際対策が緩和されれば往来が一層容易になりました。

当地で政治家からビジネスマン、学生まで幅広い分野の方々とお会いする機会がありますが、相互理解と関係強化の一番の鍵は、観光と次世代交流の推進であると実感しています。本年、コロナ関連の水際対策が緩和されることで、相互の往来と交流が本格的に再開し、飛躍的に拡大することを願っています。私もそのために最大限努力する決意です。

在シドニー日本国総領事 紀谷昌彦